

## 学修概要

歯周組織の病的状態について学び、歯周病の検査法、歯周治療の流れおよび歯周基本治療の手技について理解する。

■教科書：最新歯科衛生士教本

歯周病学 第2版 (医歯薬出版)

■参考書：なし

■授業時間：火曜日 9:00 ~ 9:50, 10:00 ~ 10:50,

■オフィスアワー：吉沼 直人 (yoshinunma.naoto@nihon-u.ac.jp)

火曜 17:00~18:00

■授業の方法：スライドを使用し、適宜プリントを配布する。

■準備学習・ 事前に必ず教科書を読み、授業内容を理解しておくこと。・

準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■成績評価方法：定期試験 (100%) を基本とする。

■実務経験：吉沼直人：現在、日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座に在籍しており、大学病院で30年の臨床経験を有している。その経験を基に歯科医師の立場から歯周療法学が臨床にいかに関与しているかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 12月17日 吉沼 直人	1. 正常な歯周組織の構造と機能 (教) pp. 8-16 2. 歯周病の分類 1) 歯肉病変 (教) pp. 17~21	・ 歯周組織の構造と機能を理解する。 ・ 歯肉病変の病態を理解する。
第3・4回 12月24日 吉沼 直人	2. 歯周病の分類 2) 歯周炎 (教) pp. 22-27 3. 歯周病の原因 1) 細菌因子 2) 宿主因子 (教) pp. 28-32	・ 歯周炎の病態を理解する。 ・ 歯周病の原因のうち、局所性因子を理解する。
第5・6回 1月14日 吉沼 直人	3. 歯周病の原因 3) 全身性修飾因子 4) 外傷性修飾因子 (教) pp. 33-36 4. 歯周治療の進め方 (教) pp. 44-54	・ 歯周病の原因のうち、全身性修飾因子と機能性修飾因子を理解する。 ・ 歯周治療の進め方を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第7・8回 1月21日 吉沼 直人	5. 歯周病の検査 1) 歯周組織検査 2) 原因因子の検査 3) 咬合の検査 (教)pp. 55-73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯周組織検査の項目を理解する。</li> <li>・ 歯周病の原因因子の検査と咬合検査の項目を理解する。</li> </ul>
第9・10回 1月28日 吉沼 直人	6. 歯周基本治療 (教)pp. 74-86	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯周基本治療の項目を理解する。</li> </ul>